

# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月15日

近鉄グループホールディングス株式会社

(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

I	2026年3月期 決算概要	・・・	2
II	2027年3月期 業績予想	・・・	18

# I 2026年3月期 決算概要

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増 減	増 減 率	増 減 要 因	2026/3期予想 (11月14日公表)	増 減
営業収益	1,741,787	<b>1,750,307</b>	8,519	0.5	「セグメント別業績」参照	1,750,000	307
営業利益	84,399	<b>89,436</b>	5,036	6.0	「セグメント別業績」参照	88,000	1,436
営業外収益	13,069	<b>14,362</b>	1,293	9.9	受取利息及び配当金 533		
うち持分法による投資利益	1,993	<b>2,289</b>	296	14.9		1,500	789
営業外費用	15,930	<b>19,221</b>	3,291	20.7	為替差損 366		
うち支払利息	11,744	<b>14,593</b>	2,848	24.3		14,500	93
経常利益	81,538	<b>84,577</b>	3,038	3.7		78,000	6,577
特別利益	12,600	<b>15,381</b>	2,781	22.1	近鉄百貨店名古屋店閉店に伴う補償金 4,531		
特別損失	11,732	<b>17,390</b>	5,657	48.2	減損損失 2,996 のれん償却額 3,329 近鉄百貨店名古屋店閉店に伴う閉鎖損失 1,330		
親会社株主に帰属する当期純利益	46,716	<b>53,771</b>	7,055	15.1	法人税等 △7,682	48,000	5,771

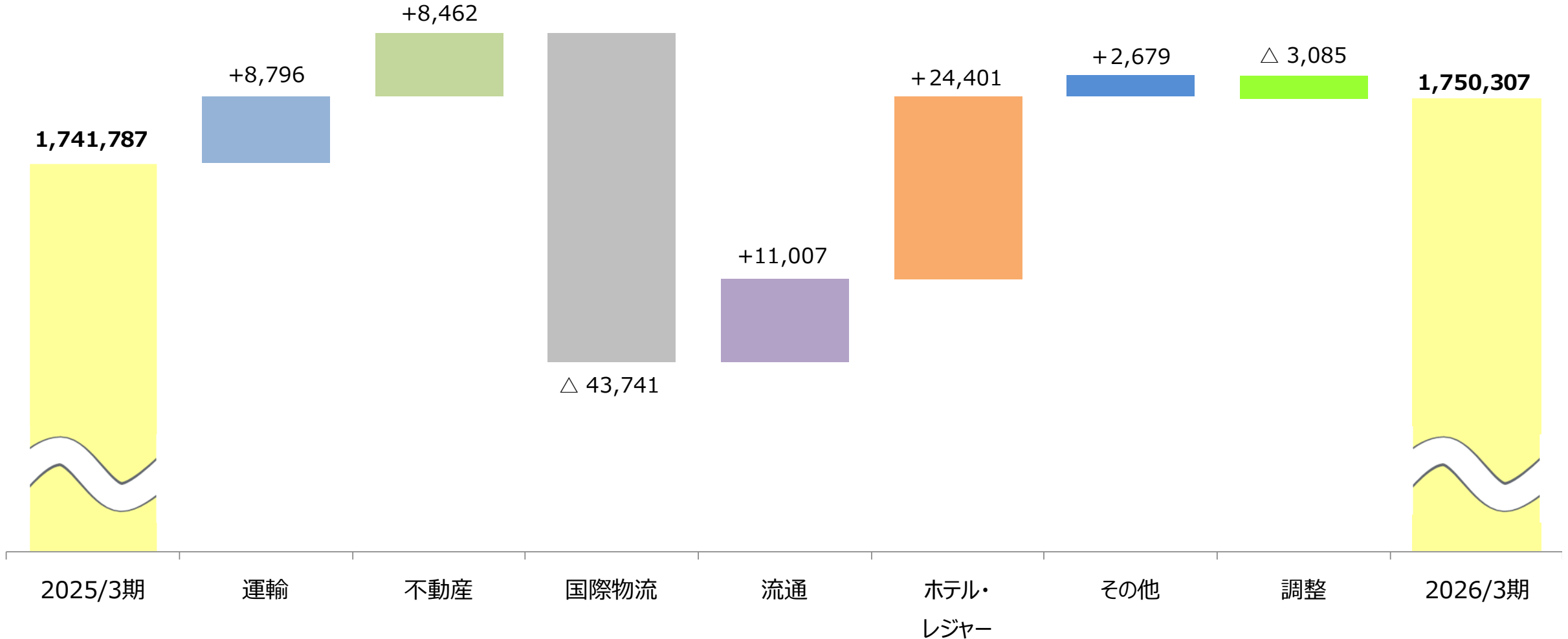
連結子会社数 198社（前期末比1社増）

持分法適用会社数 8社（前期末比増減なし）

# 決算ポイント（営業収益）

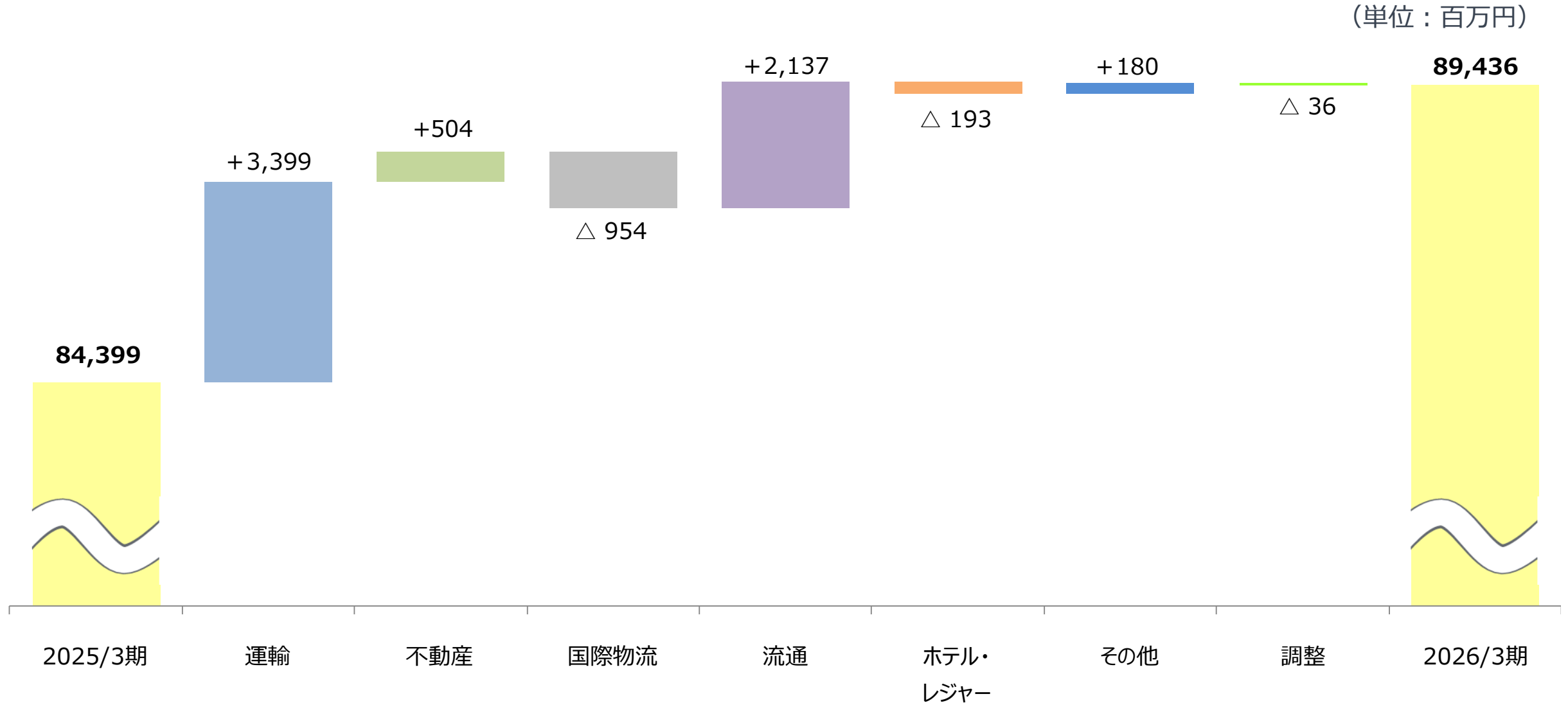
前年に開催された大阪・関西万博等による旅客・消費需要やインバウンド旅客の増加もあり、運輸業、流通業やホテル・レジャー業で増収となったことに加え、不動産業でマンション販売等が増収となったため、国際物流業での減収を差引き、連結全体で増収

(単位：百万円)



# 決算ポイント（営業損益）

国際物流業は減益となったが、運輸業、流通業等での増益により、連結全体で増益



# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2025/3期	2026/3期	増減	増減率
運 輸	営業収益	223,225	<b>232,021</b>	8,796	3.9
	営業損益	34,664	<b>38,064</b>	3,399	9.8
不 動 産	営業収益	165,359	<b>173,821</b>	8,462	5.1
	営業損益	13,864	<b>14,368</b>	504	3.6
国際物流	営業収益	796,941	<b>753,200</b>	△ 43,741	△ 5.5
	営業損益	12,967	<b>12,012</b>	△ 954	△ 7.4
流 通	営業収益	215,359	<b>226,367</b>	11,007	5.1
	営業損益	7,022	<b>9,159</b>	2,137	30.4
ホテル・レジャー	営業収益	344,905	<b>369,307</b>	24,401	7.1
	営業損益	13,984	<b>13,791</b>	△ 193	△ 1.4
そ の 他	営業収益	45,126	<b>47,805</b>	2,679	5.9
	営業損益	2,343	<b>2,524</b>	180	7.7
調 整	営業収益	△ 49,130	△ <b>52,215</b>	△ 3,085	
	営業損益	△ 446	△ <b>483</b>	△ 36	
連 結	営業収益	1,741,787	<b>1,750,307</b>	8,519	0.5
	営業損益	84,399	<b>89,436</b>	5,036	6.0

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増減	増減率
営業収益	223,225	<b>232,021</b>	8,796	3.9
鉄軌道	160,514	<b>167,190</b>	6,676	4.2
バス	34,745	<b>36,760</b>	2,015	5.8
タクシー	10,046	<b>10,553</b>	507	5.1
鉄道施設整備	25,891	<b>24,086</b>	△ 1,805	△ 7.0
その他運輸関連	12,946	<b>13,286</b>	340	2.6
調整	△ 20,918	△ <b>19,857</b>	1,060	
営業損益	34,664	<b>38,064</b>	3,399	9.8
(主な内訳)				
鉄軌道	30,596	<b>33,205</b>	2,608	8.5
バス	1,249	<b>1,809</b>	559	44.8

## 《鉄軌道》

- 大阪・関西万博開催に伴う旅客の増加、前年2月に実施したダイヤ変更による名阪特急増発効果やインバウンド効果に加え、万博閉幕後は伊勢志摩方面の需要が堅調に推移したため、増収増益

	2025/3期	2026/3期	増減	増減率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	162,291	<b>169,155</b>	6,864	4.2
鉄軌道事業	160,514	<b>167,190</b>	6,676	4.2
旅客収入	153,527	<b>159,984</b>	6,456	4.2
定期外収入	103,495	<b>109,636</b>	6,140	5.9
定期収入	50,032	<b>50,347</b>	315	0.6
運輸雑収等	6,986	<b>7,206</b>	220	3.2
その他事業	1,777	<b>1,964</b>	187	10.6
営業損益 (百万円)	30,235	<b>32,877</b>	2,641	8.7
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	526,097	<b>537,693</b>	11,596	2.2
定期外	207,763	<b>216,558</b>	8,795	4.2
定期	318,334	<b>321,135</b>	2,801	0.9

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増減	増減率
営業収益	165,359	<b>173,821</b>	8,462	5.1
不動産販売	83,066	<b>87,170</b>	4,103	4.9
不動産賃貸	40,059	<b>44,784</b>	4,724	11.8
不動産管理	46,317	<b>46,280</b>	△ 37	△ 0.1
調整	△ 4,084	△ <b>4,413</b>	△ 328	
営業損益	13,864	<b>14,368</b>	504	3.6
（主な内訳） 不動産販売	4,651	<b>3,809</b>	△ 841	△ 18.1
不動産賃貸	7,933	<b>9,322</b>	1,389	17.5

## 《不動産販売》

- 首都圏を中心にマンション販売が堅調であったものの、売上原価の増加もあり、増収減益

## 《不動産賃貸》

- 物件取得等による賃貸収入の増に加え、収益物件の売却もあり、増収増益

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増減	増減率
営業収益	796,941	<b>753,200</b>	△ 43,741	△ 5.5
日台韓	217,162	<b>210,372</b>	△ 6,789	△ 3.1
米州	95,635	<b>98,542</b>	2,907	3.0
欧州・中近東・アフリカ	53,291	<b>53,108</b>	△ 182	△ 0.3
東アジア	110,849	<b>103,030</b>	△ 7,819	△ 7.1
東南アジア・オセアニア	110,188	<b>101,427</b>	△ 8,761	△ 8.0
APLL	229,843	<b>207,974</b>	△ 21,868	△ 9.5
その他	6,711	<b>7,271</b>	559	8.3
調整	△ 26,740	△ <b>28,527</b>	△ 1,786	
営業損益	12,967	<b>12,012</b>	△ 954	△ 7.4
日台韓	6,499	<b>6,406</b>	△ 93	△ 1.4
米州	5,207	<b>4,720</b>	△ 486	△ 9.3
欧州・中近東・アフリカ	△ 271	△ <b>1,380</b>	△ 1,109	—
東アジア	2,077	<b>2,195</b>	117	5.7
東南アジア・オセアニア	3,274	<b>2,814</b>	△ 460	△ 14.1
APLL	3,489	<b>4,576</b>	1,086	31.2
その他	382	<b>353</b>	△ 28	△ 7.4

(主な内訳)

- 取扱物量は増加したが、市場競争の激化により販売価格が下落したため、減収減益

		2025/3期	2026/3期	増減	増減率(%)
〈収支〉					
営業収入	(百万円)	796,941	<b>753,200</b>	△ 43,741	△ 5.5
<small>(主な内訳)</small> 航空貨物輸送		276,364	<b>275,765</b>	△ 599	△ 0.2
	海上貨物輸送	246,545	<b>219,043</b>	△ 27,502	△ 11.2
	ロジスティクス	224,892	<b>209,436</b>	△ 15,456	△ 6.9
営業総利益	(百万円)	120,080	<b>117,680</b>	△ 2,400	△ 2.0
営業損益	(百万円)	12,967	<b>12,012</b>	△ 954	△ 7.4
〈物量〉					
航空輸出重量	(千トン)	527	<b>554</b>	26	5.0
海上輸出物量	(千TEU)	725	<b>742</b>	17	2.4

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増 減	増 減 率
営業収益	215,359	<b>226,367</b>	11,007	5.1
百貨店	115,673	<b>125,450</b>	9,776	8.5
ストア・飲食	99,686	<b>101,136</b>	1,450	1.5
調整	—	△ <b>220</b>	△ 220	
営業損益	7,022	<b>9,159</b>	2,137	30.4
（主な内訳） 百貨店	5,038	<b>6,718</b>	1,680	33.3
ストア・飲食	1,983	<b>2,440</b>	456	23.0

### 《百貨店》

- 前期に好調であった免税売上の反動はあったものの、大阪・関西万博のオフィシャルストアが好調に推移したため、増収増益

### 《ストア・飲食》

- 国内観光客やインバウンドによる人流の増加が駅ナカ店舗の売上に寄与したため、増収増益

(単位：百万円,%)

	2025/3期	2026/3期	増 減	増 減 率
営業収益	344,905	<b>369,307</b>	24,401	7.1
ホテル	45,917	<b>47,998</b>	2,081	4.5
旅行	273,935	<b>297,065</b>	23,130	8.4
映画	3,571	<b>3,771</b>	199	5.6
水族館	10,518	<b>10,592</b>	74	0.7
観光施設	11,208	<b>10,032</b>	△ 1,175	△ 10.5
調整	△ 246	△ <b>154</b>	92	
営業損益	13,984	<b>13,791</b>	△ 193	△ 1.4
(主な内訳)				
ホテル	2,974	<b>3,110</b>	135	4.6
旅行	6,004	<b>6,071</b>	67	1.1
水族館	3,469	<b>3,721</b>	252	7.3
観光施設	1,252	<b>585</b>	△ 667	△ 53.3

## 《ホテル》

- 宿泊部門で客室単価、稼働率とも高水準を維持したほか、料飲部門も堅調に推移したため、増収増益

## 《旅行》

- 海外旅行が堅調に推移したほか、大阪・関西万博関連の取扱いも寄与し、増収増益

## 《観光施設》

- 前期にコラボイベントで好調であった志摩スペイン村の入場者数が減少したため、減収減益

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	増減要因
流動資産	761,176	<b>746,535</b>	△ 14,641	現金及び預金 △44,214 販売土地及び建物 17,191
固定資産	1,744,384	<b>1,845,376</b>	100,991	首都圏でのアセット取得等
うちのれん	56,017	<b>49,440</b>	△ 6,576	
資産合計	2,507,255	<b>2,593,502</b>	86,246	
流動負債	761,609	<b>640,544</b>	△ 121,064	短期借入金 △41,117、社債 △84,000
固定負債	1,131,921	<b>1,260,992</b>	129,070	長期借入金 91,883、社債 41,863
負債合計	1,893,531	<b>1,901,537</b>	8,006	
純資産合計	613,723	<b>691,964</b>	78,240	
うち利益剰余金	234,814	<b>275,620</b>	40,806	純利益 53,771、配当金 △10,475
うちその他の包括利益累計額	129,300	<b>155,083</b>	25,783	為替換算調整勘定 13,664
負債・純資産合計	2,507,255	<b>2,593,502</b>	86,246	
純有利子負債残高	1,025,554	<b>1,075,862</b>	50,308	
借入金	897,994	<b>948,759</b>	50,765	
社債（コマーシャルペーパー含む）	358,917	<b>316,780</b>	△ 42,137	
リース債務（IFRS第16号による計上分を除く）	27,771	<b>25,236</b>	△ 2,534	
現金及び預金(△)	△ 259,128	△ <b>214,913</b>	44,214	
自己資本比率	21.7%	<b>23.6%</b>	1.9pt	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増 減	2026/3期 主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	89,728	<b>118,087</b>	28,359	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>税金等調整前当期純利益 82,568</li> <li>減価償却費 80,941</li> <li>棚卸資産の増減額 △ 20,427</li> <li>法人税等の支払額 △ 24,659</li> </ul>
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 82,789	△ <b>138,891</b>	△ 56,102	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>投資有価証券の取得 △ 20,083</li> <li>投資有価証券の売却 15,772</li> <li>固定資産の取得による支出 △ 151,870</li> <li>定期預金純増減額 13,117</li> </ul>
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 17,874	△ <b>19,935</b>	△ 2,061	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>短期借入金純増減額 △ 945</li> <li>長期借入金純増減 51,602</li> <li>社債純増減 △ 42,407</li> <li>配当金支払額 △ 10,475</li> <li>リース債務の返済 △ 18,471</li> </ul>
現金及び現金同等物 の期末残高	231,748	<b>200,124</b>	△ 31,623	

# 設備投資 純有利子負債残高

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増 減	増減要因
設備投資	83,072	<b>150,953</b>	67,880	
運輸	36,360	<b>38,212</b>	1,851	
(うち鉄軌道)	(32,861)	<b>(33,493)</b>	(631)	新型一般車両等
不動産	21,614	<b>84,538</b>	62,923	首都圏でのアセット取得等
国際物流	10,146	<b>9,901</b>	△ 244	
流通	6,312	<b>5,299</b>	△ 1,013	
ホテル・レジャー	5,684	<b>10,150</b>	4,465	米国テキサス州でのホテル建設、客室改装等
その他	2,035	<b>2,071</b>	35	
調整	917	<b>778</b>	△ 138	
純有利子負債残高	1,025,554	<b>1,075,862</b>	50,308	
EBITDA	151,323	<b>159,241</b>	7,918	
純有利子負債 / EBITDA	6.8倍	<b>6.8倍</b>	—	
ROIC	4.2%	<b>4.2%</b>	—	

- 純有利子負債 = 借入金・社債・リース債務 - 現金及び預金
- EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 (IFRS 第 16 号による計上分を除く) + のれん償却費
- ROIC = 税引後営業利益 (営業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (純有利子負債 + 株主資本)

# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2025/3期	2026/3期	増 減
運 輸	減価償却費	28,198	<b>29,989</b>	1,791
	EBITDA	62,862	<b>68,054</b>	5,191
不 動 産	減価償却費	9,942	<b>10,318</b>	375
	EBITDA	23,807	<b>24,686</b>	879
国際物流	減価償却費	13,678	<b>13,440</b>	△ 238
	EBITDA	29,893	<b>28,700</b>	△ 1,193
流 通	減価償却費	6,465	<b>6,616</b>	150
	EBITDA	13,488	<b>15,776</b>	2,287
ホテル・レジャー	減価償却費	2,853	<b>3,602</b>	749
	EBITDA	16,837	<b>17,393</b>	556
そ の 他	減価償却費	2,204	<b>2,174</b>	△ 30
	EBITDA	4,548	<b>4,698</b>	150
調 整	減価償却費	332	<b>415</b>	82
	EBITDA	△ 114	△ <b>68</b>	45
連 結	減価償却費	63,676	<b>66,557</b>	2,881
	EBITDA	151,323	<b>159,241</b>	7,918

- 減価償却費には、IFRS第16号による計上分を含まない

## Ⅱ 2027年3月期 業績予想

- 2026年度は、前年の大阪・関西万博の反動減があるものの、引き続き堅調な特急利用やインバウンドの拡大が見込まれ、中東情勢の影響など不確定要素はあるがBtoC事業領域においては需要が堅調に推移すると想定。
- 国際物流は、地政学リスクに伴う需給バランス変動による航空スペースのひっ迫や、原油価格の高騰などを背景に運賃コストの上昇が見込まれ、これに応じて販売価格への転嫁も進むと想定。
- 急速な金利上昇による支払利息の増加を織り込み。
- 円安に伴う物価上昇や地政学リスクの高まりを受けた資源価格上昇によるコストの増加、国内経済活動・個人消費への影響が懸念。

<b>運輸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 鉄軌道 2026年度の輸送人員は、特殊要因（大阪・関西万博）を除いたベースで前年と同水準と想定</li> </ul>
<b>不動産</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 不動産販売 2026年度のマンション分譲戸数は対前年ベースで増加と想定</li> </ul>
<b>国際物流</b>	<p>2026年度の営業収入は対前年ベース約110%と想定 2026年度の為替レートは1USドル＝約156円程度と想定</p>
<b>流通</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 百貨店 特殊要因（大阪・関西万博や名古屋店閉店）を除いたベースの売上高は、前年と同水準と想定</li> </ul>
<b>ホテル・レジャー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ホテル 2026年度の直営ホテル売上高は対前年ベース約106%と想定</li> <li>▶ 旅行 2026年度の売上高は、対前年ベースで国内旅行約104%、海外旅行約102%と想定</li> </ul>

(単位：百万円,%)

	2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減	増 減 率
営業収益	1,750,307	<b>1,840,000</b>	89,692	5.1
営業利益	89,436	<b>90,000</b>	563	0.6
経常利益	84,577	<b>82,000</b>	△ 2,577	△ 3.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	53,771	<b>47,000</b>	△ 6,771	△ 12.6
持分法による投資利益	2,289	<b>2,000</b>	△ 289	△ 12.7
支払利息	14,593	<b>18,000</b>	3,406	23.3

【主な増減要因】 ※営業収益・営業損益は次ページ以降をご参照ください

- ・ 経常利益は、支払利息の増等により減益見込み
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に繰延税金資産の計上に伴い法人税等が減少した反動等もあり減益見込み

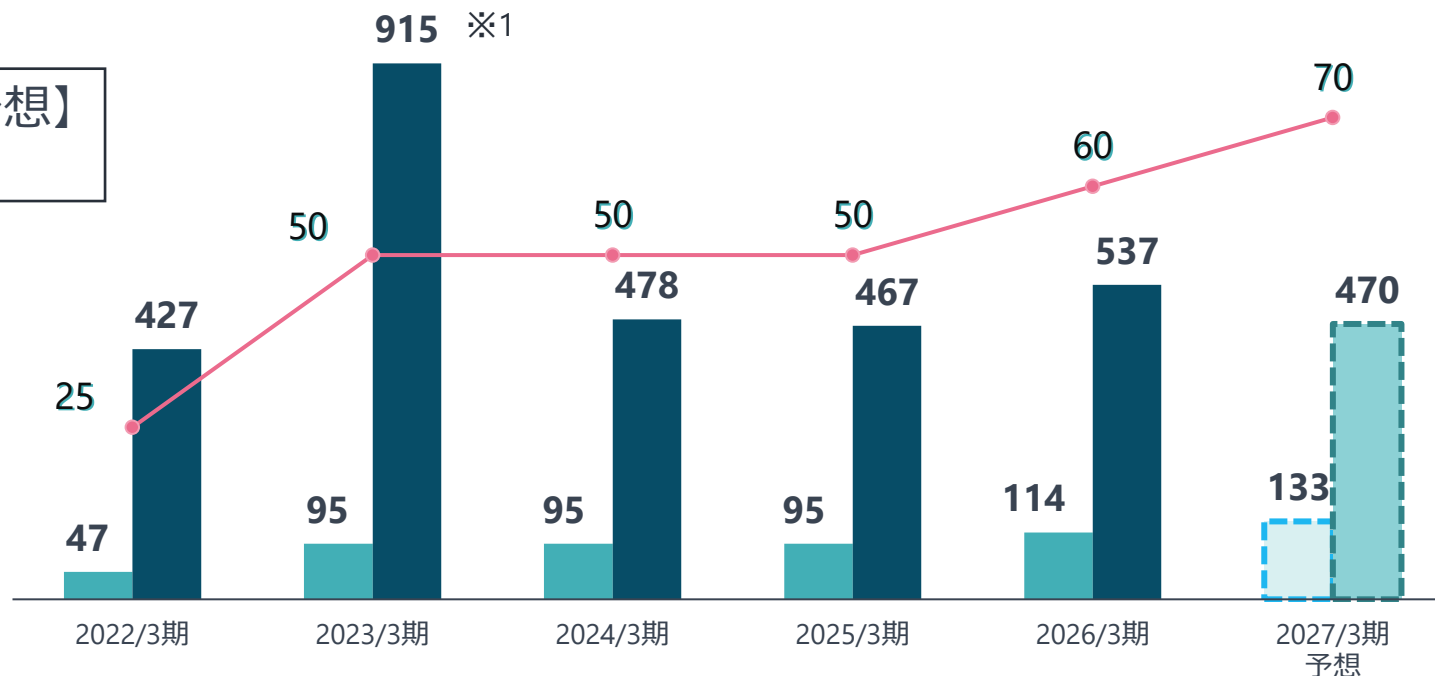
## 【株主還元の基本方針】

- 株主資本配当率 (DOE) の下限を引き上げ (2.0%→2.5%)
- DOE 2.5%を下限とした累進配当により、安定的な配当とあわせ、単年度の利益変動に捉われずに、中長期の成長に応じた株主還元を行う。
- なお、配当の実施に際しては、配当性向も考慮するとともに、中期経営計画の達成を踏まえたうえで、株主還元の多様化を進める。

■ 配当金総額 (億円)   ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)   ● 年間・1株配当金 (円)   ※1 近鉄エクスプレスの連結子会社化に伴う段階取得利益475億円を含む

## 【2027/3期 年間配当予想】

- 1株につき70円



DOE	1.9%	3.1%	2.6%	2.4%	2.6%	2.8%
連結配当性向	11.1%	10.4%	19.9%	20.4%	21.2%	28.3%

# セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減	増 減 率
運 輸	営業収益	232,021	<b>229,000</b>	△ 3,021	△ 1.3
	営業損益	38,064	<b>33,500</b>	△ 4,564	△ 12.0
不 動 産	営業収益	173,821	<b>188,000</b>	14,178	8.2
	営業損益	14,368	<b>15,800</b>	1,431	10.0
国際物流	営業収益	753,200	<b>824,000</b>	70,799	9.4
	営業損益	12,012	<b>14,600</b>	2,587	21.5
流 通	営業収益	226,367	<b>218,000</b>	△ 8,367	△ 3.7
	営業損益	9,159	<b>8,200</b>	△ 959	△ 10.5
ホテル・レジャー	営業収益	369,307	<b>383,000</b>	13,692	3.7
	営業損益	13,791	<b>14,500</b>	708	5.1
そ の 他	営業収益	47,805	<b>48,000</b>	194	0.4
	営業損益	2,524	<b>2,700</b>	175	7.0
調 整	営業収益	△ 52,215	△ <b>50,000</b>	2,215	
	営業損益	△ 483	<b>700</b>	1,183	
連 結	営業収益	1,750,307	<b>1,840,000</b>	89,692	5.1
	営業損益	89,436	<b>90,000</b>	563	0.6

## 《運 輸》

- 鉄軌道業で大阪・関西万博の反動による減収に対して、足もと堅調な奈良、伊勢志摩方面への誘客強化に取り組むが、賃上げ等による人件費の上昇や一般車両新造による減価償却費の増加を見込み減収減益を予想

## 《不動産》

- 不動産販売業で仲介・リフォーム事業の拡大等に注力することに加え、不動産賃貸業で賃貸収入の増を織り込み増収増益を予想

## 《国際物流》

- イントラアジアでの航空貨物輸送やアジア発北米向けの海上貨物輸送等での取扱増加とともに、利益率の改善を見込み増収増益を予想

## 《流 通》

- ストア飲食業で販促強化等により増収を見込むものの、百貨店業で前期に好調であった大阪・関西万博関連の反動減や名古屋店閉店による影響もあり、流通業全体では減収減益を予想

## 《ホテル・レジャー》

- ホテル業で客室改装等による販売価格の引上げを進めるほか、旅行業で海外旅行の販売拡大を見込み、増収増益を予想

	2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減	増減率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	169,155	<b>166,998</b>	△ 2,156	△ 1.3
鉄軌道事業	167,190	<b>164,983</b>	△ 2,207	△ 1.3
旅客収入	159,984	<b>157,344</b>	△ 2,639	△ 1.6
定期外収入	109,636	<b>107,132</b>	△ 2,504	△ 2.3
定期収入	50,347	<b>50,212</b>	△ 135	△ 0.3
運輸雑収等	7,206	<b>7,638</b>	431	6.0
その他事業	1,964	<b>2,015</b>	50	2.6
営業損益 (百万円)	32,877	<b>27,835</b>	△ 5,041	△ 15.3
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	537,693	<b>533,136</b>	△ 4,557	△ 0.8
定期外	216,558	<b>213,336</b>	△ 3,222	△ 1.5
定期	321,135	<b>319,800</b>	△ 1,335	△ 0.4

		2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減	増減率(%)
〈収支〉					
営業収入	(百万円)	753,200	<b>824,000</b>	70,799	9.4
営業総利益	(百万円)	117,680	<b>125,182</b>	7,501	6.4
営業損益	(百万円)	12,012	<b>14,600</b>	2,587	21.5
〈物量〉					
航空輸出重量	(千トン)	554	<b>560</b>	5	1.0
海上輸出物量	(千TEU)	742	<b>800</b>	57	7.7

# 設備投資 純有利子負債残高

(単位：百万円)

	2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減
設備投資	150,953	<b>129,000</b>	△ 21,953
運輸	38,212	<b>37,500</b>	△ 712
(うち鉄軌道)	(33,493)	<b>(32,000)</b>	(△ 1,493)
不動産	84,538	<b>32,000</b>	△ 52,538
国際物流	9,901	<b>16,500</b>	6,598
流通	5,299	<b>10,000</b>	4,700
ホテル・レジャー	10,150	<b>29,000</b>	18,849
その他	2,071	<b>2,000</b>	△ 71
調整	778	<b>2,000</b>	1,221
純有利子負債残高	1,075,862	<b>1,150,000</b>	74,137
EBITDA	159,241	<b>162,500</b>	3,258
純有利子負債 / EBITDA	6.8倍	<b>7.1倍</b>	0.3pt

• 純有利子負債 = 借入金・社債・リース債務 - 現金及び預金

• EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 (IFRS 第 16 号による計上分を除く) + のれん償却費

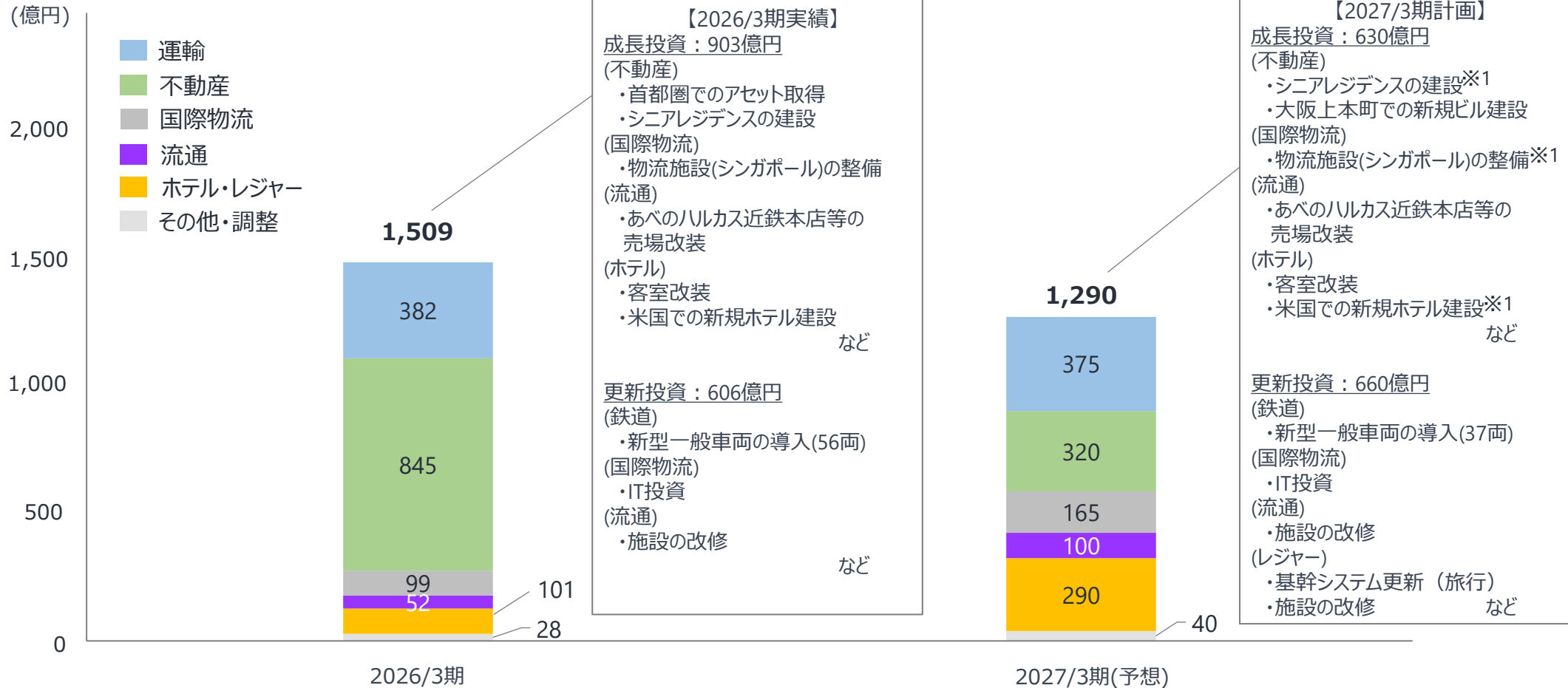
# 減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2026/3期 通期実績	2027/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	29,989	<b>31,000</b>	1,010
	EBITDA	68,054	<b>64,500</b>	△ 3,554
不 動 産	減価償却費	10,318	<b>10,500</b>	181
	EBITDA	24,686	<b>26,300</b>	1,613
国際物流	減価償却費	13,440	<b>14,500</b>	1,059
	EBITDA	28,700	<b>32,100</b>	3,399
流 通	減価償却費	6,616	<b>6,000</b>	△ 616
	EBITDA	15,776	<b>14,200</b>	△ 1,576
ホテル・レジャー	減価償却費	3,602	<b>4,500</b>	897
	EBITDA	17,393	<b>19,000</b>	1,606
そ の 他	減価償却費	2,174	<b>2,500</b>	325
	EBITDA	4,698	<b>5,200</b>	501
調 整	減価償却費	415	<b>500</b>	84
	EBITDA	△ 68	<b>1,200</b>	1,268
連 結	減価償却費	66,557	<b>69,500</b>	2,942
	EBITDA	159,241	<b>162,500</b>	3,258

# 設備投資 更新投資・成長投資

- 2026/3期は、運輸業（鉄軌道事業）で前期に引き続き新型一般車両の導入（37両）などの更新投資、不動産業での成長投資、グループ全体でデジタル投資を計画



※1 2026/3期記載アセットと同じ

# 〔参考〕連結業績予想（中間連結会計期間）

（単位：百万円,%）

	2026/3期 中間期実績	2027/3期 中間期予想	増 減	増 減 率
営業収益	856,315	<b>887,000</b>	30,684	3.6
営業利益	42,167	<b>35,000</b>	△ 7,167	△ 17.0
経常利益	39,780	<b>35,000</b>	△ 4,780	△ 12.0
親会社株主に帰属する 中間純利益	23,731	<b>20,000</b>	△ 3,731	△ 15.7
持分法による投資利益	1,064	<b>1,000</b>	△ 64	△ 6.1
支払利息	6,757	<b>8,500</b>	1,742	25.8

# [参考]セグメント別業績 (中間連結会計期間)

(単位：百万円,%)

		2026/3期 中間期実績	2027/3期 中間期予想	増 減	増 減 率
運 輸	営業収益	114,322	<b>111,000</b>	△ 3,322	△ 2.9
	営業損益	17,550	<b>12,900</b>	△ 4,650	△ 26.5
不 動 産	営業収益	80,206	<b>80,000</b>	△ 206	△ 0.3
	営業損益	8,151	<b>6,600</b>	△ 1,551	△ 19.0
国際物流	営業収益	368,059	<b>404,000</b>	35,940	9.8
	営業損益	4,012	<b>5,400</b>	1,387	34.6
流 通	営業収益	112,929	<b>106,000</b>	△ 6,929	△ 6.1
	営業損益	3,668	<b>2,800</b>	△ 868	△ 23.7
ホテル・レジャー	営業収益	182,153	<b>186,000</b>	3,846	2.1
	営業損益	7,583	<b>6,200</b>	△ 1,383	△ 18.2
そ の 他	営業収益	24,385	<b>24,000</b>	△ 385	△ 1.6
	営業損益	1,580	<b>1,500</b>	△ 80	△ 5.1
調 整	営業収益	△ 25,740	△ <b>24,000</b>	1,740	
	営業損益	△ 379	△ <b>400</b>	△ 20	
連 結	営業収益	856,315	<b>887,000</b>	30,684	3.6
	営業損益	42,167	<b>35,000</b>	△ 7,167	△ 17.0

## お問合せ先

総合政策本部 経営企画部

Tel : 06-6775-3478

Fax : 06-6775-3644

Mail : [ir-info@rw.kintetsu.co.jp](mailto:ir-info@rw.kintetsu.co.jp)